



コミュニティだより



発行者：新津中央コミュニティ協議会（新潟市秋葉区新津本町1-2-39 TEL 0250-24-4219 Fax 0250-24-4229） 発行人：太田清志



【5月26日(土)の夜、新津地域交流センター多目的ホールにおいて、専門部合同会議が持たれました。全体会の後、各専門部に分かれ、平成23年から2年間の任期となる正副部長及び広報委員の選出と今年度の活動についての協議がなされました。】（写真上段左から全体会、文化教養部会、写真下段左から健康福祉部会、環境緑化部会、防犯防災部会）

巻頭言

5年目となる新津中央コミ協のまちづくり

新津中央コミュニティ協議会 会長 太田清志



設立から4年目となる昨年度は、当コミ協の基本理念である「健康で安心安全な明るい地域づくり」のもと、各専門部において独自の活動の取組が進みました。「新津あおぞら市場への出店、新津中央スポーツ振興会との共催によるウォーキング講習会の実施、防犯パトロールの定期巡回、新津川遊歩道の整備と緑のカーテンづくりへの参加」など、その活動に創意工夫が図られ、地域の魅力あるコミュニティ活動へと着実に進展してきております。第三期となる今年度は、特色あるまちづくりを目指して、地域内町内会、各種団体との連携を一層深めながら、活動の充実に努めていきたいと考えています。

●平成23年度 総会報告●

5月22日(日)、平成23年度の総会が72名の出席のもと新津地域交流センター研修室を会場に開催されました。太田会長のあいさつの後、議事に入り、議案第1号「平成22年度事業報告」、議案第2号「平成22年度会計決算報告・会計監査報告」、引き続き議案第3号「会則の改正(案)」の審議がなされそれぞれ承認されました。

今年度は役員改選の年に当たることから、選考委員を代表して下興野町内会長の阿部久四郎さんから選考結果の報告があり、太田清志会長(吉岡町)と荒木英男(本町3の1)、清野展(善道町1)の両副会長及び会計監査の田中弥惣二(田家3)さんがそれぞれ再選となりました。この度を以て退任された会計監査の阿部忠夫さんの後任に善道町2丁目町内会長の伊藤亮さんが新たに選任されました。また、会長の委嘱事項である事務局長と会計には、後藤洵(秋葉1)と中村信也(本町3の1)のおふたりが引き続き就任となりました。

新役員の任期は、新津中央コミュニティ協議会の第三期となる平成23年度～平成24年度の2年間となります。組織図と構成メンバーについては次ページに掲載のとおりです。

なお、役員選考の手順について「会則にしっかりと明記すべき」との意見がありました。このことについては次年度の総会に提案し審議いただく予定です。

この後、第5号議案「平成23年度活動の重点」、第6号議案「平成23年度各部事業計画」、第7号議案「平成23年度予算」のいずれも承認され、平成23年度当コミ協の活動が事実上のスタートをしました。



新役員・専門部正副部長等紹介

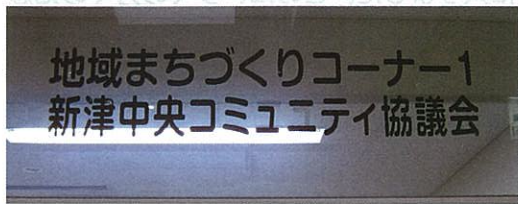


【会長:太田清志】 【副会長:荒木英男】 【副会長:清野 展】 【会計監査:田中弥惣二】 【会計監査:伊藤 亮】 【会計:中村信也】 【事務局長:後藤 洵】
 (在勤日:水曜日) (在勤日:金曜日) (在勤日:月曜日) (在勤日:木曜日) (在勤日:火曜日)

※役員の事務所在勤時間は月曜日から金曜日の原則午前9時半～11時40分です。

防犯防災部	文化教養部	健康福祉部	環境緑化部
部長 <small>新</small> 小林和夫 副部長 <small>新</small> 小林正才	部長 吉田信威 副部長 吉田亮一	部長 中山喜美雄 副部長 <small>新</small> 鈴木公子	部長 <small>新</small> 佐々木快宣 副部長 <small>新</small> 高野勝郎
副部長 <small>新</small> 建石陽文 広報委員 <small>新</small> 石田健司	副部長 <small>新</small> 新保隆夫 広報委員 <small>新</small> 石黒征一	副部長 <small>新</small> 吉澤直人 広報委員 佐々木昇	副部長 <small>新</small> 佐々木 徹 広報委員 吉川義延

新津中央コミュニティ協議会組織図・構成メンバー一覧



会 長	太 田 清 志
副 会 長	荒 木 英 男 清 野 展
会 計	中 村 信 也
事 務 局 長	後 藤 洵
会 計 監 査	田 中 弥 惣 二 伊 藤 亮

◎広報委員長 ○広報副委員長
常任委員会 **広報委員会** ◎吉川義延 (環境緑化部)
 ○佐々木昇 (健康福祉部)
 石田健司 (防犯防災部)
 石黒征一 (文化教養部)

運営委員会

中央地区	新津本町1丁目町内会	神田 達史	太田 清志	会長
〃	新津本町2丁目1区町内会	青木 鴻一	荒木 英男	副会長
〃	新津本町2丁目2区町内会	塩田 安成	清野 展	副会長
〃	新津本町3丁目1区栄町町内会	中村 信也	中村 信也	会計
〃	新津本町3丁目2区町内会	佐藤 利男	後藤 洵	事務局長
〃	新津本町3丁目3区町内会	今井 重朗	塩田 安成	中央地区町内会
〃	新津本町4丁目1区町内会	赤塚 功	田中弥惣二	南部地区町内会
〃	新津本町4丁目2区町内会	齋藤 齋	佐々木徳蔵	三興野地区町内会
南部地区	秋葉1丁目町内会	後藤 洵	松沢 豊枝	中央地区民生児童委員会
〃	秋葉2丁目町内会	荒木 四郎	山田 道夫	中央ブロック青少年健全育成会
〃	秋葉3丁目町内会	佐藤 征也	神田 雅規	第一小学校PTA
〃	中沢町町内会	南澤 肇	樋浦 庄祐	中央地区老人クラブ
〃	吉岡町町内会	遠藤 恭平	鈴木 廣介	南部地区老人クラブ
〃	田家1丁目町内会	秋山東太郎	木了 納	下興野地区老人クラブ
〃	田家2丁目町内会	真保 公一	難波 邦生	第一小学校区交通安全推進協議会
〃	田家3丁目町内会	田中弥惣二	林 豊	秋葉青年会
三興野地区	善道町1丁目自治会	佐々木徳蔵	江川美和子	秋葉区社会福祉協議会
〃	善道町2丁目町内会	伊藤 亮	荒木 利明	新津中央スポーツ振興会
〃	下興野町内会	阿部久四郎	小林 和夫	防犯防災部長
			吉田 信威	文化教養部長
			中山喜美雄	健康福祉部長
			佐々木快宣	環境緑化部長

専門部会

防犯防災部会	文化教養部会	健康福祉部会	環境緑化部会
◎小林 和夫(善道町2)	◎吉田 信威(秋葉1)	◎中山喜美雄(秋葉1)	◎佐々木快宣(本町2.1区)
○小林 正才(本町4.2区)	○吉田 亮一(青少年健全育成会)	○鈴木 公子(民生児童委員)	○高野 勝郎(善道町2)
○建石 陽文(下興野町)	○新保 隆夫(田家1)	○吉澤 直人(田家2)	○佐々木 徹(善道町1)
◇石田 健司(善道町1)	◇石黒 征一(田家2)	◇佐々木 昇(善道町2)	◇吉川 義延(本町4.1区)
藤田 羊宏(本町1)	遠藤 龍司(本町1)	神尾 雅人(本町1)	鈴木 実(本町1)
阿部 康孝(本町2.1区)	安沢 富弘(本町2.1区)	長谷川光男(本町2.1区)	品田 敏昭(本町2.2区)
石井 兵一(本町2.2区)	吉井 巖(本町2.2区)	柳田 宗雄(本町2.2区)	春日 忠男(本町3.1区)
藤田 敏雄(本町3.1区)	中村 信也(本町3.1区)	野沢 直子(本町3.1区)	須藤日出男(本町3.2区)
三村 忠(本町3.2区)	北上カズエ(本町3.2区)	会田 高弘(本町3.2区)	井越 正伸(本町3.3区)
田中 大介(本町3.3区)	渡辺 徹(本町3.3区)	梶原 紀子(本町4.1区)	高野 宏一(本町4.2区)
真柄 幹雄(本町4.1区)	飯野 吉喜(本町4.1区)	加藤 晴久(本町4.2区)	澤田 憲雄(下興野町)
五十嵐 隆司(秋葉1)	地濃 貞雄(本町4.2区)	飛澤 洋子(善道町1)	左京 俊二(秋葉1)
田中 勇助(秋葉2)	高塚 壮三(善道町1)	林 憲昭(下興野町)	三星二三夫(秋葉2)
石川 春樹(秋葉3)	小川 幸男(善道町2)	広瀬 健一(秋葉2)	樋口 力(秋葉3)
山岸 利雄(中沢町)	酒井 俊雄(下興野町)	長谷川 誠(秋葉3)	笠原 正行(中沢町)
阿部 光男(吉岡町)	青野 正男(秋葉2)	時田 和夫(中沢町)	畑 利充(吉岡町)
上山 茂美(田家1)	西済 進(秋葉3)	塚原 学(吉岡町)	本多 啓一(田家1)
小出英二三(田家2)	石田 勝美(中沢町)	皆川 政廣(田家1)	斉藤 健(田家2)
土屋 進吾(田家3)	伊庭 昭(吉岡町)	吉川 清(田家3)	田辺 禎司(田家3)
吉川 定夫(民生児童委員)	鎌田 正幸(田家3)	本間 文夫(校区PTA)	渡辺 裕子(民生児童委員)
佐々木和彦(校区PTA)	田村アサ子(民生児童委員)	吉川久美子(青少年健全育成会)	田辺 薫(校区PTA)
須藤 哲夫(青少年健全育成会)	渡邊ちあき(校区PTA)	田中 義夫(老人クラブ)	豊(青少年健全育成会)
樋浦 庄祐(老人クラブ)	井浦 由夫(老人クラブ)	沢田 一成(秋葉青年会)	小水 修平(老人クラブ)
落合 勝則(秋葉青年会)	旗本 眞澄(秋葉青年会)	横山めぐみ(社会福祉協議会)	小林 彰(秋葉青年会)
	荒木 利明(新津中央スポーツ)		石川 彰(秋葉青年会)

◎部 長 ○副部長 ◇広報委員

コミ協活動の基本理念と四つの柱を定めました

新津中央コミュニティ協議会は、平成19年に発足して以来5年目に入りました。この間、多くの方々の知恵と汗により、コミ協活動も次第に充実し、漸く地域の皆さんにもその存在が認知されるようになってきたところです。三期目となる取組を進めるに当たり、当コミ協の活動目標の見直しを行い、基本理念とそれを支える四つの柱を以下のように設定しました。これに基づき、平成23年度の活動の重点を定め、具体的な各専門部の活動が展開されることとなります。

1 地域の現状と課題

秋葉区内11のコミュニティ協議会の中で、新津中央コミュニティ協議会エリアの高齢化率は、新関コミュニティ協議会エリアの33.3%に次いで2番目に高い32.5%、また、14歳以下の年少人口の占める割合は9.7%と秋葉区内11のコミュニティ協議会内でも最も低い値となっている。このことから伺えるように、当コミ協エリア内19町内会（自治会）の共通する現状として、少子高齢化の進展があげられる。

さらに、当コミ協エリアのある町内会の直近のデータによると、1世帯当たりの平均家族数は2.7人、一人暮らし世帯の割合は27%となっている。

このような核家族化の進展と相俟って、とりわけ高齢者のみの世帯や高齢者の単身世帯の増加、隣近所づきあいの希薄化などによる地域内での助け合い機能の低下などが指摘されてきている。

以上のような現状からも、地域の子どもからお年寄りまでの全てが、住み慣れた場所で安心安全に暮らしていける環境条件の整備とその確立が喫緊の課題であると言える。

(データの引用：新潟市統計データ、秋葉区社会福祉協議会資料)

2 基本理念と四つの柱

「新潟市福祉のまちづくりアンケート」の結果によれば、「より住みやすい地域となるための必要条件」に係る秋葉区民の意識の上位5つにあげられた内容は下記のとおりである。

- ① 住民同士の声かけ、助け合いなど「近所づきあい」がある。(構成比62.8%)
- ② 緊急時に手助けの必要な人を地域で助け合う体制ができています。(構成比38.6%)
- ③ 地域医療が充実している。(構成比33.1%)
- ④ 犯罪が起きにくい地域の環境が整備されている。(構成比28.9%)
- ⑤ 地域の誰もが気軽に集える場が身近にある。(構成比24.8%)

また、「住む地域が今後どのような地域になればよいか」については、「犯罪のない安心安全なまち」がトップにあげられてもいる。

地域のこのような現状と地域住民のニーズに基づき、新津中央コミュニティ協議会活動の基本理念とそれを支える四つの柱を以下のように設定する。

基本理念	四つの柱
健康で 安心安全な 明るい地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高齢者支援の具体化 ○ 子どもの安全を見守る組織との連携の強化 ○ 地域活性化事業の実施と関連事業への協力 ○ 住民の要望の把握と行政への意見反映

3 平成23年度活動の重点

平成23年度においては、当コミ協エリア内の19の町内会（自治会）及び秋葉区社会福祉協議会など関係する各種団体との連携・協働を強化しながら、以下の重点に基づく活動を展開する。

- ア 一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯に対する支援（健康福祉部）
- イ 「地域の子どもは地域で守る」を基本に、登下校時などの通学路や遊び場の安全確保（防犯防災部）
- ウ 定期的な地域内防犯パトロールの強化（防犯防災部）
- エ 地域住民を対象とした防災意識の啓発（防犯防災部）
- オ 地域の美化活動への積極的な参加による地域環境改善への意識啓発（環境緑化部）
- カ 地域住民の健康維持活動に向けた機運の醸成と場の提供（文化教養部・健康福祉部）
- キ 子どもからお年寄りまでの多世代が気軽に参加できる郷土理解の場の提供（文化教養部）
- ク 「新津中央コミュニティだより」等による広報活動の充実（広報委員会）

各専門部

23年度事業の概要紹介

防犯防災部

- ◇ 活動のねらい
 - ・ 犯罪のない安全安心なまちづくりに向けた取組
 - ・ 防犯意識の向上及び地域全体の防犯力の向上
- ◇ 活動計画
 - 1 児童登校時パトロールの実施
 - 4月～11月（8月を除く）の毎月1回
 - 第一小学校の通学路を重点に4ブロックに分かれて実施
 - 2 児童下校時のパトロールの実施
 - ・ 部員による随時のパトロール
 - 3 繁華街歳末パトロールの実施
 - 12月24日(出)
 - 午後4時～午後5時



文化教養部

- ◇ 活動のねらい
 - ・ ウォーキングの基本を学び、正しいウォーキングが行われるようにする。
 - ・ 地域住民の新津の歴史や文化に関する知識を深める。
- ◇ 活動計画
 - 1 文化教養講座Ⅰ「心地よいウォーキングを学ぼう」
 - 期日：9月（予定）
 - 2 文化教養講座Ⅱ「新津の史跡を訪ね歩こう」
 - 期日：10月（予定）
 - 3 文化教養講座Ⅲ「文化講演会」
 - 期日：11月（予定）
 - ※ 1と2は健康福祉部、スポーツ振興会との共催事業
- ◎ 詳細が決まり次第、町内会回覧等での広報を予定



健康福祉部

- ◇ 活動のねらい
 - ・ 地域住民の健康増進を図り、明るいまちづくりを行うため、特に高齢者を中心に健康づくりに対する意識と知識の向上を図る。
- ◇ 活動計画
 - 1 「健康測定会」の実施
 - (1) 第1回 7月23日(出)午前10時～正午
 - ・ 新津地域交流センターイベントホール
 - (2) 第2回 10月1日(出)午前10時～正午
 - ・ 新津地域交流センターイベントホール
 - 2 「料理講習会」の開催
 - 期日：12月4日(日)午前10時～12時半
 - 会場：新津健康福祉センター
 - 対象：子どもを含む新津中央コミ協管内の一般市民
 - 3 「心地よいウォーキングを学ぼう」
 - ※ 文化教養部、スポーツ振興会との共催事業
- ◎ 詳細が決まり次第、町内会回覧等での広報を予定



環境緑化部

- ◇ 活動のねらい
 - 独自事業として、地域内へのグリーンカーテン普及プロジェクトの推進
 - 関係団体との事業協力をとおして、新津川の環境整備に努める。
- ◇ 活動計画
 - 1 「グリーンカーテンプロジェクトin中央コミ協」の実施
 - (1) 学習会の開催
 - 期日：7月23日(出)午前10時から
 - 会場：新津地域交流センター301会議室
 - (2) 「我が家のグリーンカーテン出来映えコンテスト」の実施
 - 期日：9月（予定）
 - 2 「新津川除草・クリーン作戦」への協力
 - 期日：9月10日(出)
 - 3 「新津川に水仙を植える会」への協力
 - 期日：11月6日(日)
- ◎ 詳細が決まり次第、町内会回覧等での広報を予定



◆常任委員会報告

5月13日(金)、新津地域交流センターにおいて、今年度第1回の常任委員会が開催されました。常任委員会は新津中央コミュニティ協議会を構成する19の町内会・自治会の会長さん達で構成される会で、コミ協と各町内会・自治会との連絡・調整に当たる役割があります。当日は委員から、「会計決算で繰越金が多いが、もっと有効活用に努めるべき」とか「事務局が交流センター内に位置づけられたのだから、会則の第2条を実情に併せ改正すべきではないか」など活発な意見交換がなされました。



◆運営委員会報告

5月18日(水)、同じく新津地域交流センターにて、第1回運営委員会が持たれました。運営委員会は、会計監査を除く役員、町内会長会地区代表、中央地区民生児童委員会や秋葉区社会福祉協議会など地域内の各種団体の代表者及びコミ協の専門部長の計20名で構成されている委員会です。ここでは総会に付すべき事項、会の運営に関することなどについて協議する場となっており、今年度の総会に諮る事項についての検討・協議がなされました。



◆専門部長・副部長会議報告

5月31日(火)、今年度第1回の専門部長・副部長会議が開かれました。文化教養部長の吉田信威さんと副部長の吉田亮一さん及び健康福祉部長の中山喜美雄さんが再任、環境緑化部の正副部長が佐々木快宣と高野勝郎さんとで入れ替わった他は、新たな顔ぶれでの会議となりました。

ここでは、各専門部の活動の概要についての報告と各専門部間での共催事業、協力事業の進め方、専門部活動への部員の参加・協力体制をどう作ったらよいかなどについて意見交換がなされました。



◆事務局にファックスを設置します。

かねてから要望のありましたFAXが7月末までには入ります。FAX番号は0250-24-4229です。なおメールによる受信も可能です。アドレスはnc_comi@yahoo.co.jpです。事務局との文書連絡等にご利用ください。

◆「広報紙モニター制度」を設けます。

広報委員会では、「コミ協への理解と活動への参加意欲を高める広報紙づくり」を編集の方針に据えて、「見やすい、読みやすい」コミ協だよりの作成を目指したいと考えています。

そのためには、読者の皆様からの忌憚のないご意見が不可欠であることから、今年度新たに、「広報紙モニター制度」を設けることといたしました。当面は、運営委員の中から、各種団体を代表する13名にご委嘱する予定です。また、その他の地域内の皆様からも、随時ご意見ご感想をお寄せいただき、紙面の充実に反映させたいと思っています。

モニターの方々にはその都度、所定の記載用紙をお届けいたしますが、地域内の皆様の随時のご感想等につきましては、様式は特に定めませんので、自由記述にてコミ協事務局に設置のファクスによりお寄せ下さい。年度末には、モニターの皆様からのご意見等を集約し、コミ協だよりの紙面に公表していく予定です。多くのご意見をお寄せいただき、双方向での紙面作りにつなげたいと思っています。

【編集後記】コミ協だより第9号をお届けします。役員改選の年度でもあることから、今号は新体制の顔ぶれを顔写真で紹介してみました。また、新たな試みとして「広報紙モニター制度」を導入しました。地域の皆様のご意見を紙面作りに反映させることを意図したものです。広報委員会宛、どしどしご意見・ご感想をお寄せ下さい。

(広報委員長 吉川義延 記)

(注) 新津中央コミュニティ協議会の各種事業は、主に新潟市からの補助金により賄われています。